

(11) 保護者が子どものしつけのために、ときには体罰を加えることも必要だと考えること

(12) 教師が子どもの指導のために、ときには体罰を加えることも必要だと考えること

	問題あり	問題えち あばら かと	問題えち なばら かと	問題 なし	無不 回明 答・	合 計	問題あり	問題えち あばら かと	問題えち なばら かと	問題 なし	無不 回明 答・	合 計
市全体	116 16.2	186 26.0	257 35.9	134 18.7	23 3.2	716 100.0	120 16.8	176 24.6	261 36.5	136 19.0	23 3.2	716 100.0
自営業	12 13.3	12 13.3	43 47.8	18 20.0	5 5.6	90 100.0	10 11.1	12 13.3	45 50.0	18 20.0	5 5.6	90 100.0
公務員、教員	6 40.0	3 20.0	3 20.0	3 20.0	0 0.0	15 100.0	4 26.7	5 33.3	3 20.0	3 20.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	25 12.6	54 27.3	77 38.9	39 19.7	3 1.5	198 100.0	23 11.6	56 28.3	73 36.9	43 21.7	3 1.5	198 100.0
非正規雇用	23 23.2	30 30.3	31 31.3	13 13.1	2 2.0	99 100.0	16 16.2	31 31.3	36 36.4	14 14.1	2 2.0	99 100.0
家事専業・学生・ 無職	47 16.8	79 28.3	90 32.3	52 18.6	11 3.9	279 100.0	60 21.5	66 23.7	94 33.7	48 17.2	11 3.9	279 100.0
不明・無回答	3 8.6	8 22.9	13 37.1	9 25.7	2 5.7	35 100.0	7 20.0	6 17.1	10 28.6	10 28.6	2 5.7	35 100.0

学歴別でみると、「問題あり」「どちらかといえば問題あり」と答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」「大学卒」では『(6)犯罪被害者やその家族の氏名や住所を、本人の了解なしに報道すること』であり、数値は各々85.2%、95.1%となっており、「高校卒」「短大卒」では『(10)親の世話や介護は、女性の役割だと考えること』であり、各々90.6%、96.0%となっている。

一方で、「問題あり」「どちらかといえば問題あり」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、「中学卒」では『(12)教師が子どもの指導のために、ときには体罰を加えることも必要だと考えること』で31.5%、「高校卒」「短大卒」「大学卒」では『(9)野宿生活者(ホームレス)が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること』であり、数値は各々39.5%、36.2%、35.2%となっている。

【表1-2-4】

【表1-2-4 学歴別 主要な個別の人権問題に関する基本的な意識の状況】

(1) ホテルや旅館がハンセン病回復者などの宿泊を断ること

(2) 結婚する際に、興信所や探偵業者などを使って相手の身元調査を行うこと

	(上段:人、下段:%)							(上段:人、下段:%)					
	問題あり	問題えち あばら かと	問題えち なばら かと	問題 なし	無不 回明 答・	合 計		問題あり	問題えち あばら かと	問題えち なばら かと	問題 なし	無不 回明 答・	合 計
市全体	309 43.2	251 35.1	88 12.3	40 5.6	28 3.9	716 100.0		193 27.0	238 33.2	163 22.8	98 13.7	24 3.4	716 100.0
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	33 30.6	34 31.5	15 13.9	11 10.2	15 13.9	108 100.0		22 20.4	31 28.7	20 18.5	20 18.5	15 13.9	108 100.0
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	106 38.4	111 40.2	33 12.0	21 7.6	5 1.8	276 100.0		73 26.4	87 31.5	72 26.1	41 14.9	3 1.1	276 100.0
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	75 50.3	51 34.2	17 11.4	2 1.3	4 2.7	149 100.0		40 26.8	58 38.9	31 20.8	18 12.1	2 1.3	149 100.0
4. 大学、大学院	78 53.8	43 29.7	18 12.4	5 3.4	1 0.7	145 100.0		48 33.1	52 35.9	30 20.7	14 9.7	1 0.7	145 100.0
5. その他	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0		2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	3 100.0
不明・無回答	15 42.9	11 31.4	5 14.3	1 2.9	3 8.6	35 100.0		8 22.9	10 28.6	10 28.6	4 11.4	3 8.6	35 100.0

(3) 外国籍住民であることを理由に、
マンションなど住宅の入居を拒否
すること

	問 題 あり	問いと 題えち あばら かと	問いと 題えち なばら かと	問 題 なし	無不 回明 答・	合 計
市全体	235 26.3	277 39.4	122 21.2	56 3.9	26 3.6	716 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	31 21.3	32 29.6	17 21.3	13 5.6	15 13.9	108 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	83 25.7	116 37.7	48 25.4	26 3.3	3 1.1	276 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	56 23.5	61 47.7	25 22.8	5 2.0	2 1.3	149 100.0
4.大学、大学院	53 34.5	55 39.3	27 15.9	9 5.5	1 0.7	145 100.0
5.その他	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	3 100.0
不明・無回答	10 28.6	13 37.1	5 14.3	3 8.6	4 11.4	35 100.0

(4) 障害のある人であることを理由
に、マンションなど住宅の入居を
拒否すること

問 題 あり	問いと 題えち あばら かと	問いと 題えち なばら かと	問 題 なし	無不 回明 答・	合 計
369 51.5	238 33.2	55 7.7	28 3.9	26 3.6	716 100.0
46 42.6	29 26.9	10 9.3	7 6.5	16 14.8	108 100.0
144 52.2	96 34.8	20 7.2	13 4.7	3 1.1	276 100.0
76 51.0	52 34.9	15 10.1	4 2.7	2 1.3	149 100.0
82 56.6	52 35.9	8 5.5	2 1.4	1 0.7	145 100.0
2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
19 54.3	8 22.9	2 5.7	2 5.7	4 11.4	35 100.0

(5) ニートやひきこもりの状態になる
のは、本人の責任が大きいと考
えること

	問 題 あり	問いと 題えち あばら かと	問いと 題えち なばら かと	問 題 なし	無不 回明 答・	合 計
市全体	141 19.7	286 39.9	163 22.8	95 13.3	31 4.3	716 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	26 24.1	37 34.3	19 17.6	11 10.2	15 13.9	108 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	53 19.2	108 39.1	64 23.2	47 17.0	4 1.4	276 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	29 19.5	68 45.6	31 20.8	17 11.4	4 2.7	149 100.0
4.大学、大学院	22 15.2	61 42.1	44 30.3	16 11.0	2 1.4	145 100.0
5.その他	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3 100.0
不明・無回答	10 28.6	11 31.4	4 11.4	4 11.4	6 17.1	35 100.0

(6) 犯罪被害者やその家族の氏名や住
所を、本人の了解なしに報道する
こと

問 題 あり	問いと 題えち あばら かと	問いと 題えち なばら かと	問 題 なし	無不 回明 答・	合 計
531 74.2	117 16.3	22 3.1	23 3.2	23 3.2	716 100.0
70 64.8	22 20.4	1 0.9	1 0.9	14 13.0	108 100.0
204 73.9	41 14.9	16 5.8	12 4.3	3 1.1	276 100.0
115 77.2	26 17.4	1 0.7	5 3.4	2 1.3	149 100.0
112 77.2	26 17.9	2 1.4	4 2.8	1 0.7	145 100.0
3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
27 77.1	2 5.7	2 5.7	1 2.9	3 8.6	35 100.0

(7) 景気の悪化などを理由に、まず外
国人労働者から解雇すること

	問 題 あり	問いと 題えち あばら かと	問いと 題えち なばら かと	問 題 なし	無不 回明 答・	合 計
市全体	223 31.1	290 40.5	114 15.9	61 8.5	28 3.9	716 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	28 25.9	32 29.6	24 22.2	9 8.3	15 13.9	108 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	94 34.1	112 40.6	41 14.9	26 9.4	3 1.1	276 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	56 37.6	61 40.9	14 9.4	14 9.4	4 2.7	149 100.0
4.大学、大学院	35 24.1	69 47.6	30 20.7	9 6.2	2 1.4	145 100.0
5.その他	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3 100.0
不明・無回答	8 22.9	16 45.7	4 11.4	3 8.6	4 11.4	35 100.0

(8) 地域住民が特別養護老人ホームや
障害のある人の施設などの福祉施
設の建設に反対すること

問 題 あり	問いと 題えち あばら かと	問いと 題えち なばら かと	問 題 なし	無不 回明 答・	合 計
351 49.0	238 33.2	70 9.8	30 4.2	27 3.8	716 100.0
52 48.1	26 24.1	7 6.5	9 8.3	14 13.0	108 100.0
149 54.0	92 33.3	22 8.0	11 4.0	2 0.7	276 100.0
65 43.6	58 38.9	19 12.8	2 1.3	5 3.4	149 100.0
67 46.2	53 36.6	18 12.4	6 4.1	1 0.7	145 100.0
2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
16 45.7	8 22.9	4 11.4	2 5.7	5 14.3	35 100.0

(9) 野宿生活者(ホームレス)が生活している公園では、子どもを遊ばせないようにすること

(10) 親の世話や介護は、女性の役割だと考えること

	問題あり	問題あり どちらか	問題あり どちらか	問題なし	無回答・	合計
市全体	94	199	214	182	27	716
	13.1	27.8	29.9	25.4	3.8	100.0
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	19	36	23	15	15	108
	17.6	33.3	21.3	13.9	13.9	100.0
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	33	76	90	73	4	276
	12.0	27.5	32.6	26.4	1.4	100.0
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	13	41	52	41	2	149
	8.7	27.5	34.9	27.5	1.3	100.0
4. 大学、大学院	20	31	44	48	2	145
	13.8	21.4	30.3	33.1	1.4	100.0
5. その他	0	3	0	0	0	3
	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
不明・無回答	9	12	5	5	4	35
	25.7	34.3	14.3	14.3	11.4	100.0

問題あり	問題あり どちらか	問題あり どちらか	問題なし	無回答・	合計
474	168	38	12	24	716
66.2	23.5	5.3	1.7	3.4	100.0
59	26	7	2	14	108
54.6	24.1	6.5	1.9	13.0	100.0
192	58	19	3	4	276
69.6	21.0	6.9	1.1	1.4	100.0
107	36	2	2	2	149
71.8	24.2	1.3	1.3	1.3	100.0
91	42	9	2	1	145
62.8	29.0	6.2	1.4	0.7	100.0
2	1	0	0	0	3
66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0
23	5	1	3	3	35
65.7	14.3	2.9	8.6	8.6	100.0

(11) 保護者が子どものしつけのために、ときには体罰を加えることも必要だと考えること

(12) 教師が子どもの指導のために、ときには体罰を加えることも必要だと考えること

	問題あり	問題あり どちらか	問題あり どちらか	問題なし	無回答・	合計
市全体	116	186	257	134	23	716
	16.2	26.0	35.9	18.7	3.2	100.0
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	15	22	40	17	14	108
	13.9	20.4	37.0	15.7	13.0	100.0
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	48	73	98	54	3	276
	17.4	26.4	35.5	19.6	1.1	100.0
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	28	39	58	22	2	149
	18.8	26.2	38.9	14.8	1.3	100.0
4. 大学、大学院	19	45	48	31	2	145
	13.1	31.0	33.1	21.4	1.4	100.0
5. その他	1	1	0	1	0	3
	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	100.0
不明・無回答	5	6	13	9	2	35
	14.3	17.1	37.1	25.7	5.7	100.0

問題あり	問題あり どちらか	問題あり どちらか	問題なし	無回答・	合計
120	176	261	136	23	716
16.8	24.6	36.5	19.0	3.2	100.0
18	16	36	24	14	108
16.7	14.8	33.3	22.2	13.0	100.0
38	74	110	52	2	276
13.8	26.8	39.9	18.8	0.7	100.0
31	39	53	23	3	149
20.8	26.2	35.6	15.4	2.0	100.0
24	42	50	27	2	145
16.6	29.0	34.5	18.6	1.4	100.0
1	0	1	1	0	3
33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	100.0
8	5	11	9	2	35
22.9	14.3	31.4	25.7	5.7	100.0

外国籍住民とのつきあいの度合別にみると、『(3)外国籍住民であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否すること』で「問題あり」「どちらかといえば問題あり」と答えた人の割合が最も高いのは、「1. 困ったときに助け合う外国籍住民がいる」で 83.4%、次いで「2. 家に招いたり、招かれたりする外国籍住民がいる」が 79.2%、「3. 家の外で立ち話をする外国籍住民がいる」が 76.5%となっている。

一方で、「問題あり」「どちらかといえば問題あり」と答えた人の割合が最も低いのは、「5. となり近所や地域に、つきあいのある外国籍住民はいない」で 67.4%、次いで「6. となり近所や地域に、外国籍住民はいない」が 71.9%、「4. あいさつを交わす外国籍住民がいる」が 76.0%となっている。

【表 1-2-5】

【表 1-2-5 外国籍住民とのつきあいの度合別】

問 2-(3)「外国籍住民であることを理由に、マンションなど住宅の入居を拒否すること」

(上段:人、下段:%)

	問題あり	問題い えち あば らか と	問題い えち あば らか と	問題なし	無不 回明 答・	合 計
市全体	235 32.8	277 38.7	122 17.0	56 7.8	26 3.6	716 100.0
1.困ったときに助け合う外国籍住民がいる	18 42.9	17 40.5	4 9.5	3 7.1	0 0.0	42 100.0
2.家に招いたり、招かれたりする外国籍住民がいる	21 39.6	21 39.6	7 13.2	2 3.8	2 3.8	53 100.0
3.家の外で立ち話をする外国籍住民がいる	37 37.8	38 38.8	13 13.3	7 7.1	3 3.1	98 100.0
4.あいさつを交わす外国籍住民がいる	64 37.4	66 38.6	24 14.0	11 6.4	6 3.5	171 100.0
5.となり近所や地域に、つきあいのある外国籍住民はいない	73 28.6	99 38.8	57 22.4	21 8.2	5 2.0	255 100.0
6.となり近所や地域に、外国籍住民はいない	78 32.8	93 39.1	38 16.0	18 7.6	11 4.6	238 100.0
不明・無回答	25 43.1	18 31.0	7 12.1	6 10.3	2 3.4	58 100.0

※問 29 は日本国籍の方のみ回答となっているため、問 25～34 のうち問 29 のみ無回答であったものについては、外国籍住民の方であると推測し、その方の問 2-(3) の回答を除いて集計した。

1-3. 大阪市が取り組んでいる人権が尊重されるまちづくりに対する評価

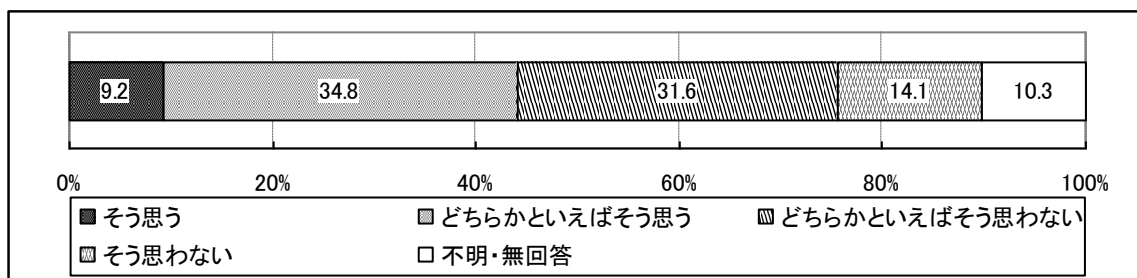
問 3 大阪市では、「大阪市人権尊重の社会づくり条例」にもとづき、多様な取組みを進めています。あなたは、今の大阪市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちであると思いますか。(○は1つ)

【表 1-3-1 大阪市が取り組んでいる人権が尊重されるまちづくりに対する評価】

(上段:人、下段:%)

	そう 思う	そい えち あば らか と	そい えち あば らか と	そい えち あば らか と	無不 回明 答・	合 計
市全体	66 9.2	249 34.8	226 31.6	101 14.1	74 10.3	716 100.0

【図 1-3 大阪市が取り組んでいる人権が尊重されるまちづくりに対する評価】



【表１－３－３ 職業別 大阪市が取り組んでいる人権が尊重されるまちづくりに対する評価】

(上段:人、下段:%)

	そう 思う	どちら かとい う	どちら かわか らない	そう 思わ ない	無不 回答・	合 計
市全体	66 9.2	249 34.8	226 31.6	101 14.1	74 10.3	716 100.0
自営業	11 12.2	30 33.3	27 30.0	7 7.8	15 16.7	90 100.0
公務員、教員	4 26.7	2 13.3	6 40.0	2 13.3	1 6.7	15 100.0
民間正規雇用	18 9.1	64 32.3	64 32.3	41 20.7	11 5.6	198 100.0
非正規雇用	6 6.1	35 35.4	40 40.4	14 14.1	4 4.0	99 100.0
家事専業・学生・ 無職	25 9.0	104 37.3	80 28.7	33 11.8	37 13.3	279 100.0
不明・無回答	2 5.7	14 40.0	9 25.7	4 11.4	6 17.1	35 100.0

学歴別でみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、「高校卒」が47.1%で最も高く、次いで「大学卒」が43.5%となっている。【表１－３－４】

【表１－３－４ 学歴別 大阪市が取り組んでいる人権が尊重されるまちづくりに対する評価】

(上段:人、下段:%)

	そう 思う	どちら かとい う	どちら かわか らない	そう 思わ ない	無不 回答・	合 計
市全体	66 9.2	249 34.8	226 31.6	101 14.1	74 10.3	716 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	15 13.9	28 25.9	24 22.2	16 14.8	25 23.1	108 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	32 11.6	98 35.5	87 31.5	36 13.0	23 8.3	276 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	6 4.0	58 38.9	53 35.6	21 14.1	11 7.4	149 100.0
4.大学、大学院	11 7.6	52 35.9	52 35.9	22 15.2	8 5.5	145 100.0
5.その他	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	3 100.0
不明・無回答	2 5.7	12 34.3	9 25.7	6 17.1	6 17.1	35 100.0

1-4. 差別に関する基本的な認識

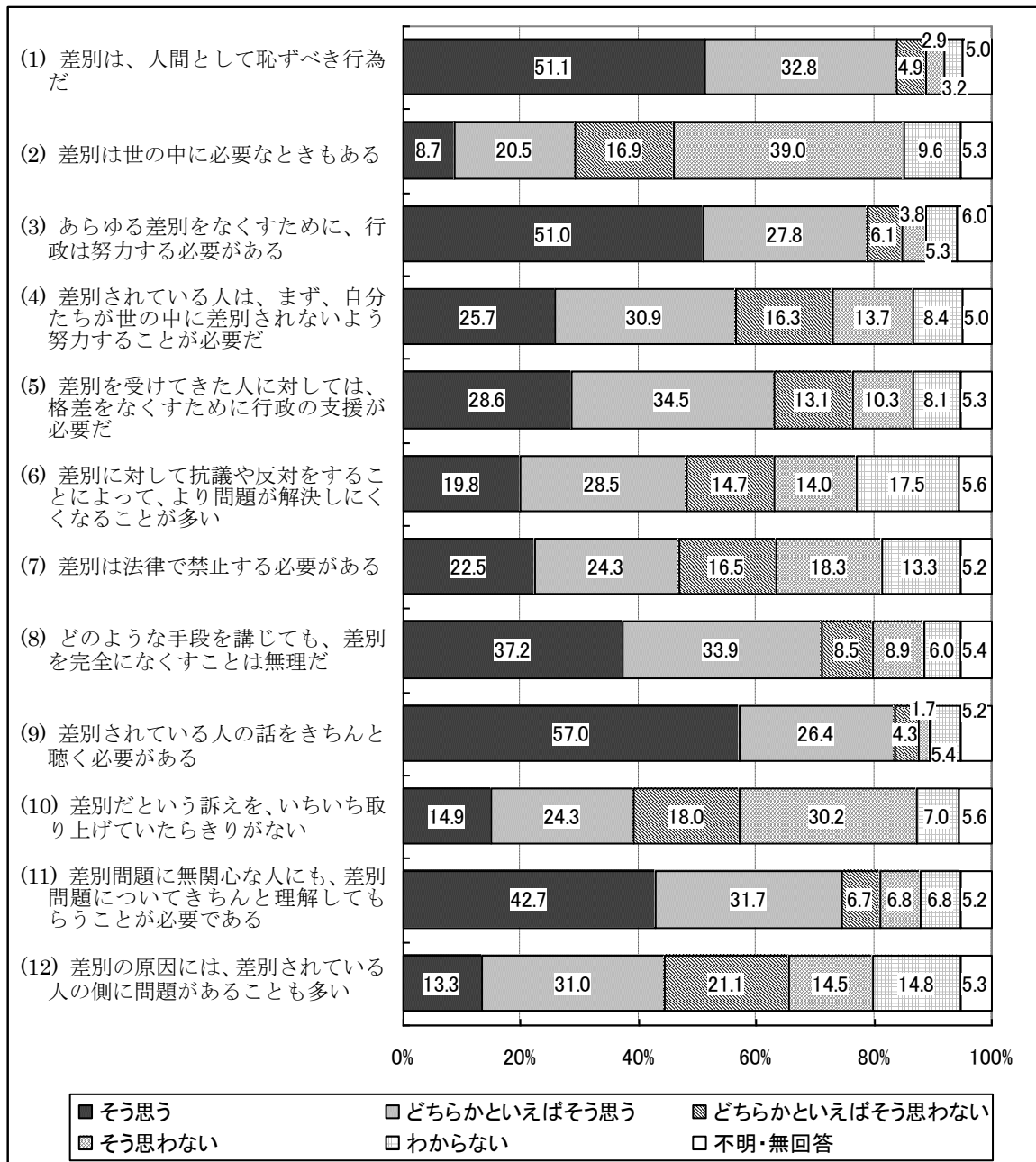
問4 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのようなお考えをお持ちですか。次の(1)～(12)のすべての項目についてお答えください。(それぞれ1つに○)

【表1-4-1 差別に関する基本的な認識】

(上段:人、下段:%)

	そう 思う	ど ちら か と 思 う	ど ちら か と 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明	合 計
(1) 差別は、人間として恥すべき行為だ	366 51.1	235 32.8	35 4.9	21 2.9	23 3.2	36 5.0	716 100.0
(2) 差別は世の中に必要なときもある	62 8.7	147 20.5	121 16.9	279 39.0	69 9.6	38 5.3	716 100.0
(3) あらゆる差別をなくすために、行政は努力 する必要がある	365 51.0	199 27.8	44 6.1	27 3.8	38 5.3	43 6.0	716 100.0
(4) 差別されている人は、まず、自分たちが世の 中に差別されないよう努力することが必要だ	184 25.7	221 30.9	117 16.3	98 13.7	60 8.4	36 5.0	716 100.0
(5) 差別を受けてきた人に対しては、格差をな くすために行政の支援が必要だ	205 28.6	247 34.5	94 13.1	74 10.3	58 8.1	38 5.3	716 100.0
(6) 差別に対して抗議や反対をすることによっ て、より問題が解決しにくくなることが多い	142 19.8	204 28.5	105 14.7	100 14.0	125 17.5	40 5.6	716 100.0
(7) 差別は法律で禁止する必要がある	161 22.5	174 24.3	118 16.5	131 18.3	95 13.3	37 5.2	716 100.0
(8) どのような手段を講じて、差別を完全に なくすことは無理だ	266 37.2	243 33.9	61 8.5	64 8.9	43 6.0	39 5.4	716 100.0
(9) 差別されている人の話をきちんと聴く必要 がある	408 57.0	189 26.4	31 4.3	12 1.7	39 5.4	37 5.2	716 100.0
(10) 差別だという訴えを、いちいち取り上げて いたらきりが無い	107 14.9	174 24.3	129 18.0	216 30.2	50 7.0	40 5.6	716 100.0
(11) 差別問題に無関心な人にも、差別問題につ いてきちんと理解してもらうことが必要である	306 42.7	227 31.7	48 6.7	49 6.8	49 6.8	37 5.2	716 100.0
(12) 差別の原因には、差別されている人の側 に問題があることも多い	95 13.3	222 31.0	151 21.1	104 14.5	106 14.8	38 5.3	716 100.0

【図 1－4 差別に関する基本的な認識】



差別に関する基本的な認識について尋ねたところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、『(1)差別は、人間として恥ずべき行為だ』で 83.9%、次いで『(9)差別されている人の話をきちんと聴く必要がある』が 83.4%、『(3)あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある』が 78.8%となっている。

一方で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、『(2)差別は世の中に必要なときもある』で 29.2%、次いで『(10)差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない』が 39.2%、『(12)差別の原因には、差別されている人の側に問題があることも多い』が 44.3%となっている。

性別でみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も高いの

は、男性では『(9)差別されている人の話をきちんと聴く必要がある』で 82.1%、次いで『(1)差別は、人間として恥ずべき行為だ』が 80.4%、『(3)あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある』が 76.1%となっている。

女性では『(1)差別は、人間として恥ずべき行為だ』が 85.7%と最も高く、次いで『(9)差別されている人の話をきちんと聴く必要がある』が 83.6%、『(3)あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある』が 81.0%となっている。

一方で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、男性では『(2)差別は世の中に必要なときもある』で 30.2%、次いで『(10)差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない』が 38.5%、『(12)差別の原因には、差別されている人の側に問題があることも多い』が 47.9%となっている。

女性では『(2)差別は世の中に必要なときもある』が 28.6%と最も低く、次いで『(10)差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない』と『(12)差別の原因には、差別されている人の側に問題があることも多い』が、ともに 39.8%となっている。

年齢別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、20 歳代、70 歳以上では『(9)差別されている人の話をきちんと聴く必要がある』であり、数値は各々 87.4%、81.9%となっており、30 歳代では『(3)あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある』で 88.4%、40 歳代、50 歳代、60 歳代では『(1)差別は、人間として恥ずべき行為だ』であり、各々 90.4%、85.3%、81.3%となっている。

一方で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、20 歳代では『(7)差別は法律で禁止する必要がある』で 28.1%となっており、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では『(2)差別は世の中に必要なときもある』であり、数値は各々 25.6%、22.2%、28.5%、32.1%、34.1%となっている。

【表 1-4-2】

【表 1-4-2 性別・年齢別 差別に関する基本的な認識】

(1) 差別は、人間として恥ずべき行為だ

(2) 差別は世の中に必要なときもある

		(上段：人、下段：%)							(上段：人、下段：%)						
		そう 思う	そい ど う 思 え ば か と	そい ど う 思 え ば か と	そい ど う 思 え ば か と	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明	合 計	そう 思う	そい ど う 思 え ば か と	そい ど う 思 え ば か と	そい ど う 思 え ば か と	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明	合 計
性別	市全体	366 51.1	235 32.8	35 4.9	21 2.9	23 3.2	36 5.0	716 100.0	62 8.7	147 20.5	121 16.9	279 39.0	69 9.6	38 5.3	716 100.0
	男性	146 48.5	96 31.9	16 5.3	13 4.3	10 3.3	20 6.6	301 100.0	28 9.3	63 20.9	49 16.3	117 38.9	24 8.0	20 6.6	301 100.0
	女性	203 52.7	127 33.0	19 4.9	8 2.1	13 3.4	15 3.9	385 100.0	30 7.8	80 20.8	60 15.6	154 40.0	44 11.4	17 4.4	385 100.0
	不明・無回答	17 56.7	12 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3	30 100.0	4 13.3	4 13.3	12 40.0	8 26.7	1 3.3	1 3.3	30 100.0
年齢別	20歳代	36 50.7	19 26.8	8 11.3	3 4.2	1 1.4	4 5.6	71 100.0	7 9.9	17 23.9	12 16.9	23 32.4	8 11.3	4 5.6	71 100.0
	30歳代	64 46.7	53 38.7	7 5.1	4 2.9	8 5.8	1 0.7	137 100.0	12 8.8	23 16.8	33 24.1	56 40.9	12 8.8	1 0.7	137 100.0
	40歳代	63 60.6	31 29.8	4 3.8	3 2.9	1 1.0	2 1.9	104 100.0	9 8.7	14 13.5	12 11.5	61 58.7	6 5.8	2 1.9	104 100.0
	50歳代	45 44.1	42 41.2	5 4.9	1 1.0	3 2.9	6 5.9	102 100.0	7 6.9	22 21.6	15 14.7	40 39.2	12 11.8	6 5.9	102 100.0
	60歳代	61 45.5	48 35.8	8 6.0	3 2.2	5 3.7	9 6.7	134 100.0	15 11.2	28 20.9	19 14.2	47 35.1	16 11.9	9 6.7	134 100.0
	70歳以上	80 58.0	30 21.7	3 2.2	7 5.1	5 3.6	13 9.4	138 100.0	8 5.8	39 28.3	18 13.0	44 31.9	14 10.1	15 10.9	138 100.0
	不明・無回答	17 56.7	12 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3	30 100.0	4 13.3	4 13.3	12 40.0	8 26.7	1 3.3	1 3.3	30 100.0

(3) あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある

		そう思う	どちらか といえ ばそう 思う	どちらか といえ ばそう 思わな い	そう 思わな い	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明	合 計
市全体		36.5 51.0	19.9 27.8	4.4 6.1	2.7 3.8	3.8 5.3	4.3 6.0	71.6 100.0
性別	男性	15.2 50.5	7.7 25.6	2.2 7.3	1.4 4.7	1.5 5.0	2.1 7.0	30.1 100.0
	女性	20.0 51.9	11.2 29.1	2.0 5.2	1.2 3.1	2.1 5.5	2.0 5.2	38.5 100.0
	不明・無回答	1.3 43.3	1.0 33.3	2 6.7	1 3.3	2 6.7	2 6.7	3.0 100.0
年齢別	20歳代	3.1 43.7	2.3 32.4	7 9.9	2 2.8	4 5.6	4 5.6	7.1 100.0
	30歳代	7.2 52.6	4.9 35.8	8 5.8	3 2.2	4 2.9	1 0.7	13.7 100.0
	40歳代	6.2 59.6	2.3 22.1	7 6.7	6 5.8	4 3.8	2 1.9	10.4 100.0
	50歳代	5.2 51.0	2.9 28.4	6 5.9	3 2.9	6 5.9	6 5.9	10.2 100.0
	60歳代	6.1 45.5	3.9 29.1	5 3.7	8 6.0	11 8.2	10 7.5	13.4 100.0
	70歳以上	7.4 53.6	2.6 18.8	9 6.5	4 2.9	7 5.1	18 13.0	13.8 100.0
	不明・無回答	1.3 43.3	1.0 33.3	2 6.7	1 3.3	2 6.7	2 6.7	3.0 100.0

(4) 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に差別されないよう努力することが必要だ

そう思う	そう い え ば	ど ち ら か と	ど ち ら か と	そう 思 わ な い		わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明	合 計
18.4	22.1	11.7	9.8	6.0		3.6	71.6	
25.7	30.9	16.3	13.7	8.4		5.0	100.0	
8.0	9.8	5.1	3.4	1.9		1.9	30.1	
26.6	32.6	16.9	11.3	6.3		6.3	100.0	
9.0	11.6	6.2	6.2	3.9		1.6	38.5	
23.4	30.1	16.1	16.1	10.1		4.2	100.0	
1.4	7	4	2	2		1	30	
46.7	23.3	13.3	6.7	6.7		3.3	100.0	
8	23	25	7	4		4	71	
11.3	32.4	35.2	9.9	5.6		5.6	100.0	
1.8	3.9	3.6	2.6	1.7		1	13.7	
13.1	28.5	26.3	19.0	12.4		0.7	100.0	
1.4	3.5	2.1	2.6	6		2	10.4	
13.5	33.7	20.2	25.0	5.8		1.9	100.0	
2.6	3.2	1.4	1.7	8		5	10.2	
25.5	31.4	13.7	16.7	7.8		4.9	100.0	
4.5	4.4	1.0	1.0	1.5		1.0	13.4	
33.6	32.8	7.5	7.5	11.2		7.5	100.0	
5.9	4.1	7	10	8		1.3	13.8	
42.8	29.7	5.1	7.2	5.8		9.4	100.0	
1.4	7	4	2	2		1	30	
46.7	23.3	13.3	6.7	6.7		3.3	100.0	

(5) 差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要だ

		そう思う	どちらか といえ ばそう 思う	どちらか といえ ばそう 思わな い	そう 思わな い	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明	合 計
市全体		20.5 28.6	24.7 34.5	9.4 13.1	7.4 10.3	5.8 8.1	3.8 5.3	71.6 100.0
性別	男性	8.2 27.2	11.2 37.2	3.2 10.6	3.8 12.6	1.8 6.0	1.9 6.3	30.1 100.0
	女性	11.2 29.1	12.6 32.7	5.7 14.8	3.4 8.8	3.8 9.9	1.8 4.7	38.5 100.0
	不明・無回答	1.1 36.7	9.9 30.0	5.5 16.7	2.2 6.7	2.2 6.7	1.1 3.3	3.0 100.0
年 齢 別	20歳代	1.7 23.9	2.4 33.8	1.2 16.9	1.1 15.5	3.3 4.2	4.4 5.6	7.1 100.0
	30歳代	3.6 26.3	5.4 39.4	2.0 14.6	1.1 8.0	1.5 10.9	1.1 0.7	13.7 100.0
	40歳代	2.4 23.1	3.6 34.6	2.0 19.2	1.6 15.4	6.6 5.8	2.2 1.9	10.4 100.0
	50歳代	2.6 25.5	3.5 34.3	1.7 16.7	9.9 8.8	1.0 9.8	5.5 4.9	10.2 100.0
	60歳代	3.8 28.4	4.4 32.8	1.2 9.0	1.6 11.9	1.4 10.4	1.0 7.5	13.4 100.0
	70歳以上	5.3 38.4	4.5 32.6	8.8 5.8	9.9 6.5	8.8 5.8	1.5 10.9	13.8 100.0
	不明・無回答	1.1 36.7	9.9 30.0	5.5 16.7	2.2 6.7	2.2 6.7	1.1 3.3	3.0 100.0

(6) 差別に対して抗議や反対をすることによって、より問題が解決しにくくなることが多い

そう思う	そう思う	どちらかと いえない	どちらかと 思う	そう思う	わからない	わからない	不明・ 無回答	合計
14.2	20.4	10.5	10.0	12.5	4.0	71.6		
19.8	28.5	14.7	14.0	17.5	5.6	100.0		
6.6	8.6	4.2	5.1	3.6	2.0	30.1		
21.9	28.6	14.0	16.9	12.0	6.6	100.0		
7.2	10.6	5.9	4.5	8.4	1.9	38.5		
18.7	27.5	15.3	11.7	21.8	4.9	100.0		
4.4	12.6	4.4	4.4	5.5	1.1	3.0		
13.3	40.0	13.3	13.3	16.7	3.3	100.0		
1.8	1.4	1.5	6.6	1.4	4.4	7.1		
25.4	19.7	21.1	8.5	19.7	5.6	100.0		
2.5	4.4	2.9	1.8	2.0	1.1	13.7		
18.2	32.1	21.2	13.1	14.6	0.7	100.0		
2.1	2.5	1.4	1.9	2.3	2.2	10.4		
20.2	24.0	13.5	18.3	22.1	1.9	100.0		
1.8	2.7	1.9	1.8	1.5	5.5	10.2		
17.6	26.5	18.6	17.6	14.7	4.9	100.0		
2.6	3.6	1.5	2.1	2.7	9.9	13.4		
19.4	26.9	11.2	15.7	20.1	6.7	100.0		
3.0	4.6	9.9	1.4	2.1	1.8	13.8		
21.7	33.3	6.5	10.1	15.2	13.0	100.0		
4.4	12.6	4.4	4.4	5.5	1.1	3.0		
13.3	40.0	13.3	13.3	16.7	3.3	100.0		

(7) 差別は法律で禁止する必要がある

		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明	合 計
市全体		16.1 22.5	17.4 24.3	11.8 16.5	13.1 18.3	9.5 13.3	3.7 5.2	71.6 100.0
性別	男性	7.4 24.6	7.2 23.9	5.0 16.6	6.2 20.6	2.4 8.0	1.9 6.3	30.1 100.0
	女性	7.7 20.0	9.7 25.2	6.4 16.6	6.3 16.4	6.7 17.4	1.7 4.4	38.5 100.0
	不明・無回答	1.0 33.3	5.5 16.7	4.4 13.3	6.6 20.0	4.4 13.3	1.1 3.3	3.0 100.0
年 齢 別	20歳代	4.4 5.6	1.6 22.5	1.3 18.3	2.1 29.6	1.3 18.3	4.4 5.6	7.1 100.0
	30歳代	2.3 16.8	3.4 24.8	3.3 24.1	3.1 22.6	1.5 10.9	1.1 0.7	13.7 100.0
	40歳代	2.3 22.1	2.9 27.9	1.8 17.3	1.7 16.3	1.5 14.4	2.2 1.9	10.4 100.0
	50歳代	2.4 23.5	2.7 26.5	1.9 18.6	1.7 16.7	1.0 9.8	5.5 4.9	10.2 100.0
	60歳代	3.3 24.6	2.9 21.6	2.1 15.7	2.1 15.7	2.1 15.7	9.9 6.7	13.4 100.0
	70歳以上	4.4 31.9	3.4 24.6	1.0 7.2	1.8 13.0	1.7 12.3	1.5 10.9	13.8 100.0
	不明・無回答	1.0 33.3	5.5 16.7	4.4 13.3	6.6 20.0	4.4 13.3	1.1 3.3	3.0 100.0

(8) どのような手段を講じて、差別を完全になくすことは無理だ

そう思う	どちらか という 思う	どちらか という わかない	い え ば	そう 思う わかない		わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明	合 計
266	243	61	64	43		39	716	
37.2	33.9	8.5	8.9	6.0		5.4	100.0	
116	100	21	31	14		19	301	
38.5	33.2	7.0	10.3	4.7		6.3	100.0	
142	132	34	30	29		18	385	
36.9	34.3	8.8	7.8	7.5		4.7	100.0	
8	11	6	3	0		2	30	
26.7	36.7	20.0	10.0	0.0		6.7	100.0	
33	19	7	2	6		4	71	
46.5	26.8	9.9	2.8	8.5		5.6	100.0	
63	48	13	6	5		2	137	
46.0	35.0	9.5	4.4	3.6		1.5	100.0	
45	28	10	15	4		2	104	
43.3	26.9	9.6	14.4	3.8		1.9	100.0	
31	37	10	12	7		5	102	
30.4	36.3	9.8	11.8	6.9		4.9	100.0	
43	51	8	13	10		9	134	
32.1	38.1	6.0	9.7	7.5		6.7	100.0	
43	49	7	13	11		15	138	
31.2	35.5	5.1	9.4	8.0		10.9	100.0	
8	11	6	3	0		2	30	
26.7	36.7	20.0	10.0	0.0		6.7	100.0	

(9) 差別されている人の話をきちんと聴く必要がある

(10) 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりがない

		そう思う	そう い え ば か と	ど ち ら か と い え ば か と	ど ち ら か と い え ば か と	ど ち ら か と い え ば か と	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明	合 計
性別	市全体	408 57.0	189 26.4	31 4.3	12 1.7	39 5.4	37 5.2	716 100.0	
	男性	173 57.5	74 24.6	16 5.3	5 1.7	12 4.0	21 7.0	301 100.0	
	女性	220 57.1	102 26.5	15 3.9	7 1.8	26 6.8	15 3.9	385 100.0	
	不明・無回答	15 50.0	13 43.3	0 0.0	0 0.0	1 3.3	1 3.3	30 100.0	
年齢別	20歳代	42 59.2	20 28.2	3 4.2	2 2.8	0 0.0	4 5.6	71 100.0	
	30歳代	79 57.7	38 27.7	9 6.6	1 0.7	8 5.8	2 1.5	137 100.0	
	40歳代	70 67.3	20 19.2	6 5.8	2 1.9	4 3.8	2 1.9	104 100.0	
	50歳代	54 52.9	28 27.5	3 2.9	2 2.0	9 8.8	6 5.9	102 100.0	
	60歳代	71 53.0	34 25.4	7 5.2	4 3.0	9 6.7	9 6.7	134 100.0	
	70歳以上	77 55.8	36 26.1	3 2.2	1 0.7	8 5.8	12 9.4	138 100.0	
	不明・無回答	15 50.0	13 43.3	0 0.0	0 0.0	1 3.3	1 3.3	30 100.0	

		そう思う	そう い え ば か と	ど ち ら か と い え ば か と	ど ち ら か と い え ば か と	ど ち ら か と い え ば か と	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明	合 計
性別	市全体	107 14.9	174 24.3	129 18.0	216 30.2	50 7.0	40 5.6	716 100.0	
	男性	41 13.6	75 24.9	58 19.3	91 30.2	17 5.6	19 6.3	301 100.0	
	女性	58 15.1	95 24.7	64 16.6	117 30.4	32 8.3	19 4.9	385 100.0	
	不明・無回答	8 26.7	4 13.3	7 23.3	8 26.7	1 3.3	2 6.7	30 100.0	
年齢別	20歳代	24 33.8	13 18.3	10 14.1	15 21.1	5 7.0	4 5.6	71 100.0	
	30歳代	11 8.0	39 28.5	29 21.2	48 35.0	9 6.6	1 0.7	137 100.0	
	40歳代	14 13.5	20 19.2	23 22.1	36 34.6	9 8.7	2 1.9	104 100.0	
	50歳代	12 11.8	20 19.6	20 19.6	38 37.3	7 6.9	5 4.9	102 100.0	
	60歳代	18 13.4	39 29.1	22 16.4	37 27.6	9 6.7	9 6.7	134 100.0	
	70歳以上	20 14.5	39 28.3	18 13.0	34 24.6	10 7.2	17 12.3	138 100.0	
	不明・無回答	8 26.7	4 13.3	7 23.3	8 26.7	1 3.3	2 6.7	30 100.0	

(11) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である

(12) 差別の原因には、差別されている人の側に問題があることも多い

		そう思う	そう い え ば か と	ど ち ら か と い え ば か と	ど ち ら か と い え ば か と	ど ち ら か と い え ば か と	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明	合 計
性別	市全体	306 42.7	227 31.7	48 6.7	49 6.8	49 6.8	37 5.2	716 100.0	
	男性	128 42.5	97 32.2	18 6.0	23 7.6	16 5.3	19 6.3	301 100.0	
	女性	163 42.3	124 31.4	28 7.3	24 6.2	32 8.3	17 4.4	385 100.0	
	不明・無回答	15 50.0	9 30.0	2 6.7	2 6.7	1 3.3	1 3.3	30 100.0	
年齢別	20歳代	33 46.5	22 31.0	6 8.5	5 7.0	1 1.4	4 5.6	71 100.0	
	30歳代	61 44.5	47 34.3	12 8.8	5 3.6	11 8.0	1 0.7	137 100.0	
	40歳代	49 47.1	31 29.8	8 7.7	10 9.6	4 3.8	2 1.9	104 100.0	
	50歳代	35 34.3	43 42.2	6 5.9	6 5.9	7 6.9	5 4.9	102 100.0	
	60歳代	49 36.6	41 30.6	6 4.5	14 10.4	15 11.2	9 6.7	134 100.0	
	70歳以上	64 46.4	34 24.6	8 5.8	7 5.1	10 7.2	15 10.9	138 100.0	
	不明・無回答	15 50.0	9 30.0	2 6.7	2 6.7	1 3.3	1 3.3	30 100.0	

		そう思う	そう い え ば か と	ど ち ら か と い え ば か と	ど ち ら か と い え ば か と	ど ち ら か と い え ば か と	わ か ら な い	無 回 答 ・ 不 明	合 計
性別	市全体	95 13.3	222 31.0	151 21.1	104 14.5	106 14.8	38 5.3	716 100.0	
	男性	36 12.0	108 35.9	69 22.9	34 11.3	34 11.3	20 6.6	301 100.0	
	女性	53 13.8	100 26.0	79 20.5	67 17.4	70 18.2	16 4.2	385 100.0	
	不明・無回答	6 20.0	14 46.7	3 10.0	3 10.0	2 6.7	2 6.7	30 100.0	
年齢別	20歳代	11 15.5	12 16.9	17 23.9	15 21.1	12 16.9	4 5.6	71 100.0	
	30歳代	11 8.0	36 26.3	44 32.1	25 18.2	20 14.6	1 0.7	137 100.0	
	40歳代	5 4.8	28 26.9	31 29.8	20 19.2	18 17.3	2 1.9	104 100.0	
	50歳代	11 10.8	29 28.4	25 24.5	15 14.7	17 16.7	5 4.9	102 100.0	
	60歳代	21 15.7	49 36.6	18 13.4	14 10.4	22 16.4	10 7.5	134 100.0	
	70歳以上	30 21.7	54 39.1	13 9.4	12 8.7	15 10.9	14 10.1	138 100.0	
	不明・無回答	6 20.0	14 46.7	3 10.0	3 10.0	2 6.7	2 6.7	30 100.0	

職業別でみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「公務員、教員」「家事専業・学生・無職」では『(1)差別は、人間として恥ずべき行為だ』であり、数値は各々76.6%、100.0%、84.6%となっており、「民間正規雇用」「非正規雇用」では『(9)差別されている人の話をきちんと聴く必要がある』であり、各々83.3%、91.9%となっている。

一方で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合が最も低いのは、すべてで『(2)差別は世の中に必要なときもある』であり、「自営業」34.5%、「公務員、教員」26.6%、「民間正規雇用」29.3%、「非正規雇用」23.3%、「家事専業・学生・無職」30.4%となっている。なお、「公務員、教員」では『(4)差別されている人は、まず、自分たちが世の中に差別されないよう努力することが必要だ』も同率となっている。

【表1-4-3】